

2011（平成23）年度 城西中学校 学校経営方針

福山市立城西中学校長

岡野 英俊

1 学校教育目標

「自主性を確立し、心豊かで主体的に行動する生徒の育成」

校訓 「挑戦・絆・創造」

2 これまでの取組みと本年度の方向性（別紙）

マイナスからゼロへ、ゼロからプラスへ！

- 荒れを起こさせない学校風土の醸成。
- 当たり前のことが当たり前でできる生徒の育成。
- 意欲を持って取り組める生徒。活気のある学校。

3 重点事項

- (1) 基礎学力の向上
- (2) 環境美化
- (3) ボランティア活動
- (4) 自治活動の活性化（生徒会活動・部活動）

3委員会（学力向上委員会、環境美化委員会、ボランティア委員会）のプロジェクトチームで主体的な活動方針、取り組みを進めていく。
（全員がどれかの委員会に所属する）

4 方針

自尊感情を高める取組みにより、目標を持ち、向上心を持って、自主的に一生懸命取り組むという学校風土をつくる。 “ほめて育てる” マイナスではなくプラスの方に目を向けさせる指導。

自尊感情：自分自身が人生の挑戦に立ち向かう力があり、幸せになる価値ある人間であると実感する。

今年のテーマ 『挑戦 ～輝く未来への第一歩～』

5 取組み

(1) 基礎学力の向上（学力向上委員会）

「わからないことを教える」「できる喜びを感じさせる」「自ら学ぼうとする意欲を高める」

- ① 基本は授業である。（プロとしての授業。わかる授業。楽しい授業。）常に研究を。
- ② 朝の学活で基礎の学習
 - ・本校生徒の学習状況分析に基づく、自作問題の作成。（3教科を中心に）
- ③ 自主学习（家庭学習）
 - ・適切な宿題による家庭学習を仕組み、評価と指導を。
- ④ 漢字検定、英語検定へのチャレンジ

【学校評価自己評価項目】

- ① 朝の学活で国・数・英の基礎的な学習を各教科週1回行う。
- ② 学力が向上した生徒70%以上にする。（定期テストの総合点で検証）
- ③ 適切な宿題を出し、家庭学習を1時間以上する生徒40%以上。30分以上する生徒60%以上。
- ④ 各教科1回以上の授業研究。1人3回以上の各種研究会、研修会への参加。
- ⑤ 「授業がわかりやすい」生徒70%以上。

(2) 環境美化（環境美化委員会）

「人は環境に左右される」「私たちの学校はきれいであるという自尊」

- ① 教室環境…温かみがあり、自分たちの部屋であるという自覚と誇りが持てる教室。
(担任の意識が教室に現れる。掲示物の統一と工夫。)
発達障害を持つ生徒に対応した、統一した教室環境の整備。
- ② 掲示板…生徒会を中心に。生徒たちが生き生きと自立した活動をしているという“生きた掲示板”。
掲示板ごとの担当を決める。生徒が主体となった活動を仕組んでいく。
- ③ 校舎内外…ゴミを絶対に落とさない。ゴミを拾う。という意識、啓発を常に。
掃除をがんばらせて、「きれいにする」意識を常に持たせる。
教職員の意識が最も大事。「ゴミが落ちていたら拾う」「壊されたらすぐ直す」「生徒に訴える」

【学校評価自己評価項目】

- ① 掃除をがんばる生徒 95%以上。

(3) ボランティア活動（ボランティア委員会）

「人のために動く」「必要とされている」「支え合って生きている」

- ① 従来の取り組みをさらに広げる取り組みを。
(芦田川クリーン活動、24時間募金活動等)
- ② 校内ボランティアの活動を仕組む。(部活動、学年、生徒会等)
- ③ ボランティア手帳の活用
・ボランティア活動の記録。校内表彰(ほめる、認める、意欲)
- ④ 組織的な広報活動
・活動をほめて、認めて、広める。(職朝で、HRで、集会で、通信で)

【学校評価自己評価項目】

- ① ボランティア活動参加生徒延べ人数 860人以上。

(4) 自治活動の活性化（生徒会、部活動）

「自分たちの学校は自分たちで創る」「自立と自律の力をつける」

- ① 部活動の活性化
・生徒指導の基本は『信頼』関係。部活動での生徒との絆づくりと規律の指導を。
- ② 生徒会活動の活性化
・生徒会活動の活性化。『みんなで考える・決める・動く生徒会』の実践を。

【学校評価自己評価項目】

- ① 週に2回以上は部活動の指導に出る。
- ② 部活動出席率 80%以上。
- ③ 規律3要素の取り組み。掃除をがんばる生徒 95%以上。挨拶がしっかりとできる生徒 90%以上。
遅刻をしない生徒 95%以上。

なぜ組織的に取り組むのか？

「組織は力」だからである。

組織的とはどういうことか？

「目標が同じ」ことと「人まかせにしない」ことである。